

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社プロフェッショナルディベロップメント

25-22-12-114-041

| D. 情報発信 | | 114 SNSを活用した情報発信 | | |
|-----------|---------|--|----------|---|
| コースのねらい | | 広報に用いるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。 | | |
| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) | 日 程 |
| | | | | 月 日 時刻 |
| 1 SNSの活用 | SNSの活用 | (1) SNSの特徴と仕組み【演習あり】 SNS活用現状把握チェックシートの記載(受講生の使用状況の確認)。SNSの仕組み(インターネットビジネスの探究、マーケティング活動におけるSNSの役割、インターネットマーケティング、Webマーケティング、トリプルメディアマーケティング、PESOモデル、インターネットマーケティング戦略からSNS運用・企画立案)。SNSの種類・特徴(Instagram、TikTok、LINE、YouTube、X、Threads、Facebook)。SNSの特徴(共感、収集、リアルタイム、地球規模、拡散、双方向コミュニケーション、安価な広告宣伝費用)。購買行動の変遷(AIDMA、AISAS、ULSASS、UDSASS)。【演習】現状のSNS運用についてチェックシートから情報交換をして課題を共有しSNS運用について探究します。 | 1.0 | 令和7年 11月10日(月) 9:30～16:30 昼休憩 11:45～12:45 |
| | | (2) SNSの活用事例の紹介【演習あり】 Instagramの活用事例の紹介。Xの活用事例の紹介。LINEの活用事例の紹介。Facebookの活用事例の紹介。YouTubeの活用事例の紹介。TikTokの活用事例の紹介。SNS運用の失敗事例やその原因、SNS運用による成功事例や効果について。【演習】個々のSNS運用の成功事例や失敗事例について参加者にもリサーチしてもらい効果や原因について話し合い、SNSの活用について探究する。 | 0.7 | |
| | | (3) アカウントの登録【演習あり】 Instagramの登録方法。Threadsの登録方法。LINE公式の登録方法。Xの登録方法。Facebookの登録方法。YouTubeチャンネルの開設方法。TikTokチャンネルの開設方法。Instagramのプロフィール作成。【演習】参加者からの許可を得てから、登録されていない参加者のSNS登録をして、Instagramプロフィールの作成をします。 | 0.5 | |
| 2 情報発信 | 情報発信 | (1) 写真・動画の投稿【演習あり】 投稿テーマを決める4つのステップ。目的の明確化とアカウントの使い分け。設定する情報とターゲットの絞り込み。投稿コンテンツの考案。基本となるアカウントの見た目(空気感と雰囲気)。アカウントの世界観を決めるトーンアンドマナー(トーンマナー)。共感の追求、客観視、ターゲットの思いやり。顧客目線の付加価値(インパクトとストレスフリー)。投稿の有益性、投稿のエンタメ性。いいね!等のKPIについて(KPIの可視化)。保存率を高めるための投稿(投稿例から探究)。トレンドデータの取得。相手の想像を超える(感動領域への挑戦)。頭の納得・心の納得(価値マトリックス)。スマートフォンを活用した写真撮影スキル。高いクオリティの写真を撮影するには。基本的な3種類の構図とはポートレート機能。被写界深度(F値)。【演習】投稿テーマを4つのステップから設定し、トレンドデータを取得し、スマートフォンを使用してポートレート(F値の調節)や構図を活用し質の高い写真撮影を体験します。 | 1.0 | 0.4 0.4 0.4 |
| | | (2) ハッシュタグの利用【演習あり】 ハッシュタグとは。設定する際の注意するポイント。ハッシュタグを活用する理由。ハッシュタグ検索。ハッシュタグの最適化。ハッシュタグボリューム。検索タグとコミュニティタグ。競合企業、人気企業やインスタグラマーのハッシュタグ事例。顧客目線のハッシュタグの利用。オリジナルハッシュタグの活用例。ハッシュタグに必要な3S(簡単に、短く、率直に)。【演習】投稿例からハッシュタグを付ける体験をし、最適なハッシュタグの組合せについて話し合います。 | 0.4 | |
| | | (3) 投稿のアーカイブ【演習あり】 アーカイブとは。Instagramにおける3種類のアーカイブ(フィード、ストーリー、ライブ)。アーカイブ機能を活用する理由。公開と非公開。プロフィール投稿の見直しについて。アーカイブ機能の操作について。投稿のアーカイブの活用例を知る。【演習】アーカイブの操作を体験します。 | 0.4 | |
| 3 SNSの危険性 | SNSの危険性 | (1) ネット炎上と企業が受けるダメージ【演習あり】 ネット炎上とは。炎上の傾向(2011年～2024年に起きたSNS炎上の案件・原因・損害について)。SNS炎上により企業の受けるダメージとは(経営への影響や信用の低下)。SNS炎上の対策と最適な謝罪について。SNSに投稿したものは削除できない(デジタルルター)。SNSアクションの停止とコンテンツの削除について。ひとりの謝罪や対応はしない(公式なお詫びと法務の担当者による書面での回答)。【演習】SNS炎上案件から真因について探究します。 | 0.5 | 0.5 0.5 0.5 0.5 |
| | | (2) SNSによる情報漏えい、風評被害【演習あり】 個人情報の保護とは。個人情報の定義。個人情報保護法の目的。個人情報に含まれる写真や動画について。個人情報が漏洩した際の損害とは。SNS情報漏洩による事例。コンテンツ投稿前の確認について。発信者情報開示請求。漏洩を防ぐトリプルチェック体制。景品表示法(優良誤認表示、有利誤認表示、強調表示+打消し、不当表示)。フィッシング詐欺。【演習】個人情報に含まれるもの、景品表示法に違反するものについて話し合う。 | 0.5 | |
| | | (3) SNS利用の制限【演習あり】 ソーシャルメディアガイドラインの策定について。ソーシャルメディアガイドラインサンプルの活用。企業アカウントのSNS利用の目的と世界観について共有する。企業アカウントと個人アカウントの使い分け。社会的規範の意識とSNS活用におけるモラリティについて。【演習】ソーシャルメディアガイドラインについて話し合う。 | 0.5 | |
| | | (4) SNS利用者の自覚と責任【演習あり】 付加価値(有益性、公益性、エンタメ性)を提供する継続的な情報発信。エンゲージメントの発揮(SNS担当チームを構築し投稿体制を整える)。社会的な原理原則に沿う(5ゲン主義)。今起きている社会的な議題を察知して慎重に発信する(炎上は批判型から議論型へ)。個人の権利や主張(宗教、信条、政治等)への配慮。これからSNS。SNSマーケティング支援の利用について。【演習】参加者のお悩みやSNS活用について質問や相談等にお応えします。 | 0.5 | |

カリキュラム作成のポイント

本研修は、SNSの特徴や効果的な運用について理解し、活用事例から各企業の求める顧客への情報発信や交流において必要な思考を履修するとともに、SNSを利用する際の注意点や炎上を避けるための手法等についても把握し、参加者や担当者の皆様が、企業のSNS戦略を楽しく積極的に推進する役割を果たすことを目的としています。本来は長期間かかるSNS活用についてはInstagramを主とすることにより1日に収めております。経験から気付きをうながすワークや意見交換を多く取り入れ、受講生に有益となる情報交換や人間関係構築の場となるようにワークを研修の50%以上を占めるよう制作しました。